

2018 (平成 30) 年度

TFU スカラシップガイド

経営学部

経営学科

イベントプロデュース学科



東京富士大学

■ TFU の理念と TFU スカラシップ制度

学びたいけれど学べない若者のために、本学は経営学への門戸を開き続けてきました。戦中の混乱の中での開学、戦後の貧困の中での短期大学の設置。「働きながら学ぶ」若者のための夜間部の設立。広く日本全国に教育への門戸を開く通信教育部の設立…時代の変化とともに、ニーズの変化とともに、東京富士大学は変化を続けてきました。ただ、変わらないものもあります。

教育とは学生に生命をあたへてゆくことである

創業者 高田勇道のこの理念は、創立以来今もなお本学に息づいています。変わらない理念はいま「TFU スカラシップ制度」として結実しました。東京富士大学は皆さんの「学びたい」という意欲を、「明日を生きるチカラ」へと変えるお手伝いをします。

■ TFU スカラシップ制度 5つのポイント

1. 返還不要

出願時に申請することにより、特待生審査の対象になります。面接等の結果を踏まえて、特待生として合格すれば最大で学納金が全額免除になる、返還不要の奨学金制度です。

2. 最大で「学納金」を全額免除

「A 特待生」になれば学納金（入学金、授業料、施設費、教育充実費）の全額を免除（減免額 444 万円）、
「B 特待生」になれば国公立大学並の費用で学ぶことができます（減免額 200 万円）。

3. 4 年間継続

「学費全額免除」をうたっていても、「初年度のみ」という大学は少なくありません。東京富士大学は 4 年間継続して皆さんの学びを応援します。継続条件を満たしている限り、奨学金が途切れることはありません^{*1}。

4. 全ての入試方式でチャレンジ可能

全ての入試方式に奨学金制度への門戸が開かれています。そのため自分の特性（資格を持っている、評定平均値が高い、学力試験が得意…）に合わせて入試方式を選択し、奨学金制度にチャレンジすることができます^{*2}。

5. 人数制限なし

A 特待生から D 特待生にいたるまで、それぞれの条件さえ満たしていれば、必ず奨学金制度の対象になります。「〇名まで」といった人数制限によって、奨学金を受けられないということはありません^{*3}。

^{*1} 継続条件については右ページを参照して下さい。

^{*2} 特待生合格をした場合、再受験をしても特待ランクに変更はありません。

^{*3} 願書の所定の箇所にチェックマークを入れることでスカラシップ制度の適用希望を申請する必要があります。詳しくは募集要項を参照して下さい。また入学試験に面接などが課されている場合、基準を満たしていても、面接などの結果次第では特別待遇での合格とならない場合もありますので、予めご了承下さい。

■ 4つの特別待遇（学納金^{*1}比較表）

	初年度	2 年次	3 年次	4 年次	合計	(免除額)
一般学生	126 万円	106 万円	106 万円	106 万円	444 万円	
A 特待	0 万円 ^{*2}	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	(▲ 444 万円)
B 特待	61 万円	61 万円	61 万円	61 万円	244 万円	(▲ 200 万円)
C 特待	83.5 万円	83.5 万円	83.5 万円	83.5 万円	334 万円	(▲ 110 万円)
D 特待	106 万円	106 万円	106 万円	106 万円	424 万円	(▲ 20 万円)

(参考)

国立大学	81 万円	53 万円	53 万円	53 万円	240 万円
------	-------	-------	-------	-------	--------

^{*1} 学納金の他に教科書代、委託徴収金（学友会費 5,000 円）、イベントプロデュース学科については実習費などが別途必要となります。

^{*2} 実質 0 円（入学手続き時に入学金 10 万円を申し受けますが、入学後に返金致します）。

■特別待遇の継続条件

(特別待遇のランクと継続条件)

特別待遇を継続するためには、本学学生の模範となるような学習態度で勉学に勤しみ、特待生として相応しい成績を修めなければなりません。その意味から、特別待遇には継続条件を設定しています。この継続条件は、特別待遇のランクによって異なります。特別待遇ごとの継続条件は以下の通りです。毎年度の成績はGPA 基準^{*1}とし、上位の%は学年在籍者数を基準に算定します。

ランク	条件
A 特待	出席率 80%以上かつ毎年度の成績が上位 10%以内
B 特待	出席率 80%以上かつ毎年度の成績が上位 20%以内
C 特待	出席率 80%以上かつ毎年度の成績が上位 40%以内

- 継続条件を満たした場合、次年度も特待ランクを維持することができます。
- それぞれのランクの継続条件を2年連続で満たせなかった場合、その翌年度の特待のランクは1つ下げられます。さらにその次年度も同様に継続条件を満たせなかった場合、1つ下げられたランクが引き続き適用されることとなります。
- また当該年度の特待ランクが下がっていた場合、再び下がる前の特待ランク継続条件を満たしたときは次年度には元のランクに戻されます(3年次から4年次のみ)。

(特待生資格の取消)

特待生が以下に該当するときは、特待生の資格を取り消すこととなりますので、ご注意ください。

- 原則として毎年度の取得単位数が30単位^{*2}以下となったとき(4年次を除く)。この場合、次年度からは減免されない通常の

学生納付金を収めていただきます。なお入学後特別な事情が発生し、単位取得が困難になった場合などには相応の配慮をします。

- 退学もしくは除籍になったとき。
- 学生としてふさわしくない重大な非行があったと大学が判断したとき。
- 特待生が留年したとき(留年した年度からは減免されない通常の学生納付金を収めていただきます)。

(その他の特記事項)

- 上記特待生として入学した学生は、原則として、本学が提供する他の奨学金制度の奨学金を重複して受給することはできません。
- この特待生制度に奨学金の返還義務はありません。
- 休学や留学等により本学での学修を中断する場合、その期間は学納金の特別待遇は適用されませんが、特待生資格を失うことはありません。ただし、その期間は本学の学則にしたがい、所定の学生納付金が必要となります。

*1 GPA 基準：GPA(Grade Point Average)とは学生が履修した全科目の成績にポイントを設定し、履修単位数1単位当たりのグレード・ポイントを数値化したもので、高等学校の「評定平均値」に当たるものです。成績Sには4ポイント、Aには3ポイント、Bには2ポイント、Cには1ポイントが与えられます。

*2 卒業に必要な単位数は124単位で、1年当たり31単位取得できなければ4年で卒業ができません。一般的な学生であれば取得できる単位数です。

■その他の独自の奨学金制度

東京富士大学ではTFUスカラシップ制度以外にも独自の奨学金制度を設けています(詳しくはHPでご確認下さい)。なお、これらは、TFUスカラシップ制度との併用はできません。

1 高田奨学生制度

創立者高田勇道の名を冠するこの奨学金制度は、全ての学生に給付を受けるチャンスがあります。前年度の成績や課外活動の実績に応じて、授業料の一部が免除されます。

2 学校法人 東京富士大学奨学金制度

家庭の経済状況が急変し、修学が困難になったものの、学業を続けたい学生が対象です。所定の単位を習得していることを条件に、学納金の一部が免除されます。成績が急激に悪化しない限り、サポートは続きます。

自分の特徴と奨学金の基準を組み合わせ、自分にベストの入試方式を選ぼう！

TFU スカラシップナビ

AO 入試・公募推薦入試^{*1 *2}

A 特待	日商簿記 1 級 or 税理士科目合格者 or 英検準 1 級以上 or 応用情報技術者
B 特待	日商簿記 2 級 or 全商簿記 1 級（会計及び原価計算 2 科目） or 英検 2 級 or 基本情報技術者
C 特待	全商簿記 1 級（会計または原価計算 1 科目） or 英検準 2 級 or 漢検 2 級以上 or IT パスポート
D 特待	資格検定試験ポイントの合計が 4 ポイント以上 ^{*3}

指定校推薦入試^{*2}

B 特待	指定校評定基準値 +0.5 以上 or 日商簿記 2 級以上 or 全商簿記 1 級（会計または原価計算 1 科目）以上 or 英検準 2 級以上
C 特待	指定校評定基準値 +0.3 以上 or 日商簿記 3 級 or 全商簿記 2 級

一般入試

A 特待	80%以上の得点率（2 科目判定に限る）
B 特待	60%以上の得点率（2 科目判定に限る）

センター試験利用入試

A 特待	80%以上の得点率（受験科目中ベスト 2 科目の平均得点率）
B 特待	60%以上の得点率（受験科目中ベスト 2 科目の平均得点率）

編入学試験（3 年次）^{*2}

C 特待	GPA ^{*4} 3.0 以上（2 年次前期までの成績）
D 特待	GPA ^{*4} 2.5 以上（2 年次前期までの成績）

全入学試験（留学生入試を除く）^{*2}

D 特待	卒業生子女等 （出願者の両親もしくは兄弟姉妹のいずれかが本学を卒業した方あるいは在学している方）
------	---

外国人留学生入学試験^{*2}

B 特待	日本留学試験の得点：300 点以上 or 日本語能力試験：N1 取得
C 特待	日本留学試験の得点：250 点以上 or 日本語能力試験：N2 取得

*1 基準にない活動実績であっても、本学が「特に優れている」と判断した場合、特待生合格と判定する場合があります。

*2 入学試験に面接などが課されている場合、上記の基準を満たしていても、面接などの結果次第では特別待遇での合格とならない場合もありますので、予めご了承下さい。

*3 資格検定試験ポイントの詳細については、募集要項、ホームページでご確認下さい。

*4 GPA は本学の基準に沿って算出します。基準はホームページに掲載されている『学生要覧』でご確認下さい。

東京富士大学

入試広報課 〒 169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-1
Tel 03-3368-0351 Fax 03-5386-2451
E-mail kouhou@fuji.ac.jp
<http://www.fuji.ac.jp>